



平成18年10月10日

各位

会社名 鹿島建設株式会社
代表者 代表取締役社長 中村 満義
(コード番号 1812 東証・大証・名証各第一部)
問合せ先 財務本部主計部長 高野 博信
(TEL. 03-3404-3311 (大代表))

平成19年3月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月18日の決算発表時に公表した平成19年3月期の中間連結業績予想及び中間単体業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期 中間連結業績予想数値の修正 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月18日)	770,000	11,000	12,000
今回修正予想(B)	790,000	17,500	18,500
増減額(B-A)	20,000	6,500	6,500
増減率(%)	2.6%	59.1%	54.2%
前中間期実績(平成17年9月期)	784,494	18,779	3,797

2. 平成19年3月期 中間単体業績予想数値の修正 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月18日)	590,000	8,000	11,000
今回修正予想(B)	610,000	18,500	12,500
増減額(B-A)	20,000	10,500	1,500
増減率(%)	3.4%	131.3%	13.6%
前中間期実績(平成17年9月期)	588,826	19,748	2,719

3. 修正の理由

(1) 経常利益の増加について

連結経常利益については、当社子会社のカジマ・ヨーロッパ・U. K.・ホールディング・リミテッド(以下、KEUKという。)の業績が悪化しますが、親会社及びその他の海外子会社の業績向上等により吸収し、予想数値に比べて65億円増加の175億円となる見込みです。

親会社単体の経常利益は、建設事業及び開発事業の総利益が増加すること等の理由から、予想数値に比べて105億円増加し、185億円となる見込みです。

(2) 中間純利益の増加について

連結中間純利益については、経常利益が65億円増加すること等から、予想数値に比べて65億円増加の185億円となる見込みです。

親会社単体の中間純利益は、経常利益が105億円増加するものの、KEUKに対する関係会社事業損失引当金繰入額約77億円の計上等により、予想数値に比べて15億円増加の125億円となる見込みです。

(3) 関係会社事業損失引当金繰入額の計上(単体)

KEUK傘下の英国建設子会社における業績悪化に伴い、当社において、関係会社事業損失引当金繰入額約77億円を特別損失に計上いたします。

なお、英国における建設事業につきましては、現在、新規工事の受注は見合わせて、手持工事の消化に努めております。

4. 平成19年3月期の連結及び単体の通期業績予想数値につきましては、本年11月15日の中間決算発表時にお知らせいたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上